

ウオダス 漁海況速報 No.1407

発行日 平成17年4月18日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鯨ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

4月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	⑳	22	23
24	25	⑳	27	28	29	30

○島根沖でスルメイカCPUE 12.9尾（開運丸による日本海いか類漁場調査経過）

小 泊 (4月6~10日)

ウスメバル	一本釣	25隻	441kg
タイ	刺網	1隻	11kg
ヤリイカ	棒受網	18隻	657kg

(4月11~15日)

ウスメバル	一本釣	98隻	1,700kg
ヤリイカ	棒受網	55隻	1,984kg
タイ	刺網	5隻	54kg

三 厩 (4月11~15日)

ヤリイカ	定置網	50隻	100kg
アブラツノザメ	延縄	8隻	1,359kg
ウスメバル	一本釣	6隻	30kg

平 館 (4月11~15日)

サクラマス	定置網	58隻	42kg
ヤリイカ			1,467kg

白 糠 (3月21~25日)

サクラマス	一本釣	158隻	893kg
ウスメバル	一本釣	69隻	13kg
マダラ	一本釣	5隻	111kg

(3月26~31日)

サクラマス	一本釣	65隻	333kg
(774 kg)	定置網	2隻	441kg
ウスメバル	一本釣	1隻	1kg
マダラ	一本釣	1隻	2kg
(20 kg)	定置網	1隻	18kg

佐 井 (4月6~10日)

ヤリイカ	定置網	30隻	234kg
アブラツノザメ	刺網	1隻	55kg

尻 労 (4月6~10日)

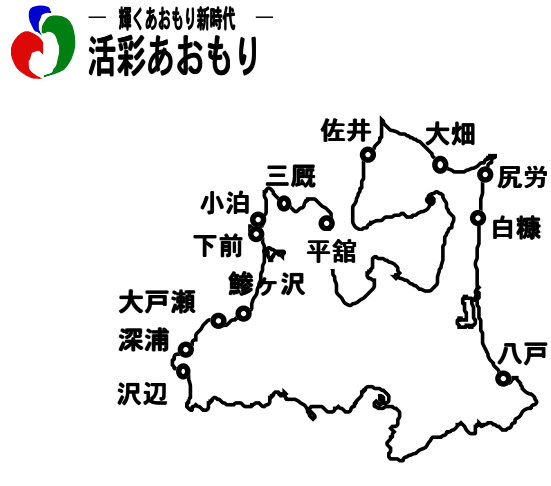
サクラマス	定置網	8隻	1,047kg
(1,069kg)	一本釣	4隻	22kg

八 戸 (4月11~15日)

サケ他	定置網	2隻	527kg
-----	-----	----	-------

鯨ヶ沢 (4月11~15日)

ヤリイカ	底建網	18隻	90kg
(341 kg)	底曳網	1隻	250kg
マダラ	底建網	3隻	18kg
サクラマス	底建網	9隻	28kg
(308 kg)	定置網	4隻	281kg
タイ	底建網	3隻	11kg
(63 kg)	底曳網	1隻	7kg
	一本釣	3隻	45kg
ウスメバル	底建網	1隻	1kg
フクラギ	定置網	1隻	0.4kg
アブラツノザメ	底曳網	1隻	2kg



(4月1~5日)

サクラマス	一本釣	171隻	2,090kg
ウスメバル	一本釣	5隻	8kg
マダラ	一本釣	8隻	93kg
(220 kg)	定置網	2隻	127kg

(4月6~10日)

サクラマス	一本釣	75隻	583kg
(776 kg)	定置網	1隻	193kg
マダラ	定置網	1隻	24kg

(4月11~15日)

サクラマス	一本釣	35隻	171kg
(1,022kg)	定置網	4隻	851kg
マダラ	定置網	3隻	47kg
イカナゴ	棒受網	46隻	12,545kg

大戸瀬 (4月11~15日)

ヤリイカ	定置網	10隻	2kg
(130 kg)	底建網	83隻	129kg
タイ	底建網	3隻	10.3kg
サクラマス	定置網	29隻	448kg
(531 kg)	底建網	15隻	84kg
マダラ	定置網	4隻	20kg
(69 kg)	底建網	10隻	49kg
サバ	底建網	2隻	1kg

沢 辺 (4月11~15日)

ヤリイカ	定置網	4隻	17kg
(37 kg)	底建網	3隻	20kg
ウスメバル	刺網	9隻	87kg
マダラ	定置網	1隻	4kg
(40 kg)	底建網	4隻	36kg
サクラマス	定置網	9隻	982kg
シヨッコ	定置網	2隻	2kg

深 浦 (4月11~15日)

ヤリイカ	底建網	8隻	99kg
(906 kg)	定置網	2隻	33kg
	底曳網	9隻	765kg
	棒受網	1隻	9kg
ウスメバル	一本釣	16隻	486kg
(585 kg)	刺網	5隻	99kg
サクラマス	定置網	4隻	109kg

大 畑 (3月26日~4月15日)
(取りまとめ中)

主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・4月11~15日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月~)	昨年同期比
小 泊	1,984kg	302%	9,838kg	91%
鯨ヶ沢	341kg	74%	248,461kg	171%
大 戸 瀬	130kg	23%	275,341kg	173%
深 浦	906kg	774%	14,820kg	69%
沢 辺	37kg	15%	3,364kg	69%
(陸奥湾)				
平 館	1,467kg	29%	41,388kg	75%
(津軽海峡)				
三 厩	100kg	12%	17,009kg	153%
佐 井	234kg	166%	8,100kg	37%

佐井は4/10まで

○サクラマス (全漁法・4月11~15日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(12月~)	昨年同期比
鯨ヶ沢	308kg	407%	402kg	30%
大 戸 瀬	531kg	53%	16,207kg	80%
深 浦	109kg	156%	5,448kg	83%
(津軽海峡)				
三 厩	0kg	-	221kg	52%
佐 井	0kg	-	3,775kg	166%
(太平洋)				
尻 労	1,069kg	71%	6,454kg	28%
白 糠	1,022kg	132%	17,105kg	90%

佐井、尻労は4/10まで

○アブラツノザメ (全漁法・4月11~15日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計(9月~)	昨年同期比
三 厩	1,359kg	29%	136,507kg	64%

沿岸各地の水温

(4月11日～15日)

日本海 8℃台
陸奥湾 5～6℃台

津軽海峡 8～9℃台
太平洋 8～9℃台

今期は昇温した地域が多く、平均前回差は+0.1度となりました。

昨年と比べると各海域とも低めで、日本海側及び陸奥湾内で1度前後低くなっています。平均昨年差は-1.0度です。

平年と比べると陸奥湾内及び津軽海峡側でかなり低め、太平洋側がやや高めとなっています。平均昨年差は-1.3度で、低めの状態が続いています。

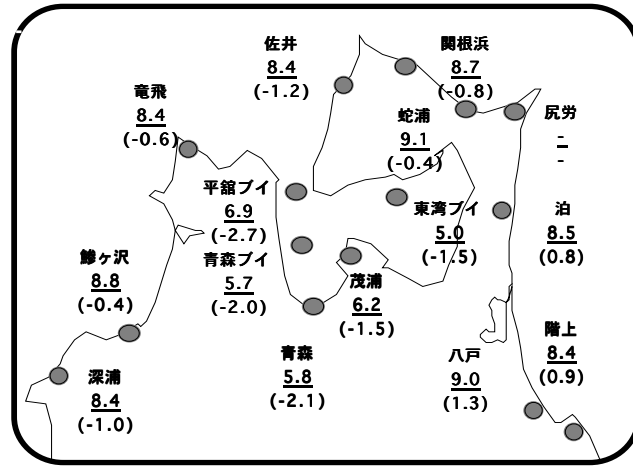


図 定地水温 (4月11～15日)
平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	8.4	-1.0	-1.1	+0.5
鯉ヶ沢	8.8	-0.4	-1.5	+0.4
竜飛	8.4	-0.6	-1.1	+0.6
佐井	8.4	-1.2	-1.2	+0.8
青森	5.8	-2.1	-1.2	-0.6
蛇浦	9.1	-0.4	-0.4	+0.4
関根浜	8.7	-0.8	-0.9	+0.1
尻労	-	-	-	-
泊	8.5	+0.8	-0.7	+0.2
八戸	9.0	+1.3	-0.1	+0.5
階上	8.4	+0.9	-0.9	+0.3
茂浦	6.2	-1.5	-1.4	-0.3
平館ブイ	6.9	-2.7	-0.9	-0.5
青森ブイ	5.7	-2.0	-1.0	+0.2
東湾ブイ	5.0	-1.5	-0.9	+0.9
平均	6.4	-1.3	-1.0	+0.1

太平洋の海況 (4月13日～14日)

概況；沿岸水温は8℃台。

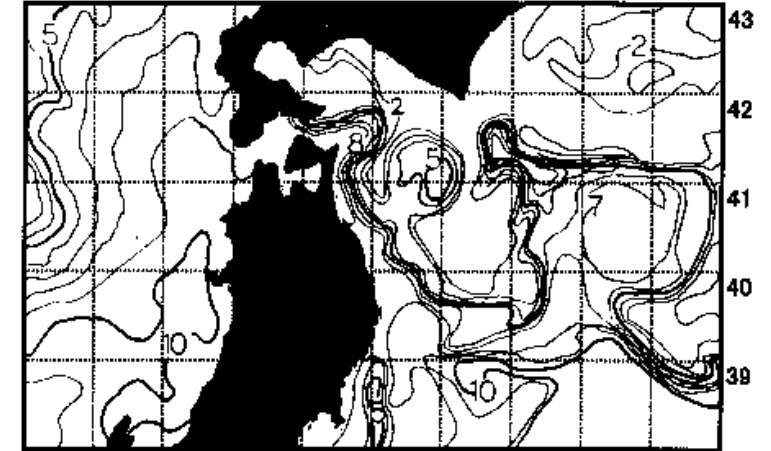
- 太平洋沿岸域の表面水温 8℃台で、前回よりわずかに昇温しています。昨年同期と比較すると1～3度も高い水温です。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 6℃等温線で見ると東経142度付近までで、張り出しは前回より強くなっています。
- 親潮系冷水の南下 5℃等温線で見ると、北緯39度30分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。下北半島の東には水温1℃台の冷水がみられています。

日本海の海況 (4月13日～14日)

概況；沿岸水温は8～9℃台。

- 日本海沿岸域の表面水温 8～9℃台で、前回よりわずかに昇温しています。昨年同期と比較するとわずかに低い水温となっています。

137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第5号 4月15日

◎試験船情報

●試験船開運丸は27日までの予定で、日本海のか類漁場調査を行っています。

17日までの調査結果は右の表のとおりです。島根沖ではスルメイカのCPUE (釣機1台1時間当たりの漁獲尾数)

開運丸いか類漁場調査結果 (日本海)

操業月日	操業位置	漁獲尾数 (*)	魚体 (cm) **	表面水温 (℃)
4月13日	38-56、136-39 (能登北方)	0	-	9.8
4月13日	38-38、136-21 (能登北方)	357 (8.5)	12～16 (14)	10.8
4月14日	37-59、134-09 (大和堆南方)	225 (5.7)	12～18 (15)	11.7
4月14日	37-51、133-58 (大和堆南方)	176 (2.8)	9～16 (14)	11.4
4月15日	36-21、132-52 (隠岐北方)	74 (2.2)	14～22 (16)	13.7
4月15日	36-20、132-29 (隠岐北西)	115 (3.2)	12～21 (16)	13.2
4月16日	35-32、131-32 (島根沖)	1899 (12.9)	13～22 (19)	14.2
4月17日	35-04、131-10 (山口沖)	431 (3.1)	16～24 (20)	15.0

* 釣糸1本1時間あたりの漁獲尾数 **主となる大きさ

が12.9尾と高い値を示しています。そのほか、能登北方から山口沖までCPUEで8.5～0尾となっていました。

漁場水温は表面で10.8～15.0℃でした。外套背長は漁獲のみられた島根以南で19センチ、それ以北では16～14センチでした。

●試験船東奥丸は今週、津軽海峡で流量調査を行う予定です。

●試験船青鵬丸は今週、日本海で沿岸資源動向調査を行う予定です。

◎日本海スルメイカ漁況 (資料：漁業情報サービスセンター 境港出張所)

北九州から山陰海域では魚体が小型化して主漁場は鳥取沖へ東進。

鳥取県東部から西部では1航海1隻平均96箱。魚体は25、30尾入り主体。隠岐諸島周辺では同平均12箱に減少。30尾入り主体。島根半島沖では同平均92箱、25尾入り主体。山口県では同平均77箱、20尾入り主体。長崎県では前年の46%、魚体は20～25尾入り主体。

平成16年の青森県漁獲統計 (3)

分類別に最も多いのはいか類の「その他水産動物」

漁獲数量を分類別にみると、「その他水産動物」が137,444トンで最も多く全体の46.4%、次いで「貝類」の104,264トン、「魚類」51,175トン、「草類」3,181トンとなっていた。

また、漁獲金額を分類別にみると、「その他水産動物」が318.5億円で最も多く全体の52.6%、次いで「貝類」の139.7億円、「魚類」139.4億円、「草類」8.4億円となっていた。

(資料：平成16年青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報) 青森県農林水産部)